



## カナダ・アルバータ州 青年研修生受入事業で 来道のみな・ジュディさん、ダンさん 研修、勉学を終えて離道



北海道の青年研修受入事業で来道し、それぞれ研修、勉学に励んでいた、北海道の姉妹州であるカナダ・アルバータ州からの青年研修生、吉開・みな・ジュディさんと田中ダンさんの二人は、このほど所定のコースを修了して離道した。

アルバータ州カルガリー市出身の“みな”さんは、2002年～2003年の2年間は北海道大学大学院国際広報メディア研究科の研究生として、その後さらに2年間は、私費留学生として研究を続けていたが、この3月に同学科の修士課程を終了し、東京にある研究機関のNGO団体に就職した。

カナダに移住したご両親のもとに生まれた“みな”さんは幼い頃から「おばあさん」のいないことが寂しかったそうだが、北海道滞在中は学業の暇をみては空知管内旧北村（現岩見沢市）に住む祖母を訪ね、「おばあさん」と過ごす時間を楽しんだ。

一方エドモントン市出身の田中ダンさんは、2004年8月から約1年半、札幌国際日本語学院で日本語の習得に努めた。同じく、3月に上級コースを終え、帰国を前に次のような感想を載せた思い出のアルバムを北方圏センターに残してくれた。



一年半は長くもあり短かもありました。長かったというのは、日本語の習得に時間がかかったからそう感じたのでしょう。新しい言葉を学ぶことは一生のことだと思いましたが、「日本語を学ぶ」ことで“日本を経験”できました。

学校には世界各地から来た生徒がいたので各国の文化に触れることができました。カナダ人であれ、日本人であれ、その他の國の人であれ、人は皆同じです。

後半は、勉強、アルバイト、友人との交際と札幌での生活はとても忙しくなりましたが、札幌を離れた時にはきっとそれが懐かしくなるでしょう。北海道とアルバータの友好をさらに発展させるように努力していきます。また、日本語の勉強も決して諦めません。

いろいろとお世話になり、ありがとうございました。-(要約)



“みな”さんは東京へ、ダンさんは帰国と北海道を離れてしましましたが、これからも北海道とアルバータ州との交流促進に貢献してくれるでしょう。お二人の今後の活躍を祈ります。

## NRCニュース

### 北方圏センター 平成18年度「通常総会」開催(平成18年5月22日)

北方圏センターは、次のとおり平成18年度「通常総会」を開催し、平成17年度の事業実績報告ならびに収支決算、平成18年度事業計画ならびに収支予算が承認された。

また総会に先だって開催された理事会で互選された改選期の理事の就任が承認された。今年度は、団体統合の方針に沿って(財)北海道海外協会との統合が承認され、今後は国際協力部の事業の中で主に南米からの日系研修員の研修事業を担っていく。



総会後に開かれた「会員交流パーティー」には約140名の会員ほか在札の各國総領事など来賓、関係者が出席して親睦を深めた。(総務部他)

### 北海道・黒竜江省友好提携20周年記念事業

友好提携20周年を記念して北海道と黒竜江省で様々な交流が予定されている。先ず7月には、黒竜江省で交流式典、道内の大学や留学案内も含めた「北海道紹介展」、日本語弁論大会などが行われる。弁論大会優勝者の北海道招待、道内高校生の黒竜江省訪問など青少年交流に力を入れる。北海道からの交流団も訪問する。

10月には黒竜江省からの訪問団、青少年訪問団を受け入れるほか、友好セミナーを開催し、この20年の友好を確かめる。

(交流部)

### 北海道海外技術研修員・通訳員養成研修生修了式(平成18年3月13日)

北方圏センターが北海道より受託して受入を実施した、北海道海外技術研修員(平成17年6月～)、通訳員養成研修生(同7月～)の修了式が行われ、習得した技術や様々な思い出を持って帰国した。

一方、平成18年度北海道海外技術研修員4名が南米諸国から6月初頭に来札した。日本語研修の後、7月より札幌市内の企業・教育機関等で専門研修を行う。6月下旬には中国・黒竜江省から協力交流研修員、7月上旬にはロシア・サハリン州から通訳員養成研修生が相次いで来札する。

(国際協力部)

